2026年(令和8年)　11月1日発行 第449号

Let's 生涯学習 11月号

串戸市民センターだより

ホームページ
はこちらから

発行元　串戸市民センター
〒738－0033　串戸2丁目13番13号
TEL 0829-32-2096
FAX 0829-30-2055
http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/kushidosc/

開館時間　9:00～21:30

串戸地区の人口と世帯数(令和8年10月1日現在)
男性1,984人 女性2,089人 合計4,073人 2,146世帯

11　月

1日		16月	
2月		17火	
3火	・休館日（文化の日）	18水	・乳幼児学級スイミー
4水	・乳幼児学級スイミー	19木	・楽らく健康体操
5木	・楽らく健康体操 ・カフェくしど	20金	・健康づくりｳｫｰｷﾝｸﾞ 世界遺産　紅葉の宮島
6金	・スマホ相談室	21土	
7土		22日	
8日		23月	・休館日（勤労感謝の日）
9月		24火	
10火	・串戸市民センター杯 秋季ゴルフコンペ	25水	・乳幼児学級スイミー ・串戸ふれあいサロン
11水	・乳幼児学級スイミー ・串戸ふれあいサロン	26木	・楽らく健康体操
12木	・楽らく健康体操 ・おはなし会	27金	・スマホ相談室
13金		28土	・串戸ワイワイ土曜朝市
14土	・ミニクリスマスツリー教室 ・串戸ワイワイ土曜朝市 ・串戸歴史ウォークラリー	29日	
15日		30月	

第44回 串戸市民センターまつり

10月17日（土）、心地よい秋晴れの下、「第44回串戸市民センターまつり」を開催しました。当日は1,200人を超える地域の皆さまにご来場いただき、会場は終始たくさんの笑顔に包まれました。



▲屋外ステージのクラブ発表


▲腕ずもう大会


▲腕ずもう高学年の部１～3位


▲クラブの作品展示


▲キッズ広場「宝さがし」


▲金剛寺小学校４年生のみなさん



◀ 屋内ステージのクラブ発表


▲飲食バザー

主催事業のお知らせ

お申込みは申込フォームまたは窓口、お電話にて。（窓口、お電話は平日９時～17時　0829-32-2096）

ミニクリスマスツリー教室

30cm程度のクリスマスツリーを作って持って帰ります。

日　時：１１月１４日（土）
　　１０：００～１２：００
場　所：串戸市民センター　第1研修室
講　師：中島　昌子さん
　　日本フラワーデザイナー協会名誉本部講師
　　フラワースタジオ花あそび
参加費：1,０００円
定　員：１０名
対　象：小学３年生～６年生
持ち物：枝切ばさみ（あれば）、持ち帰り用袋



スマホ相談室

【マンツーマンの個別対応です】
当センターの職員がスマホ操作のご相談をお受けします。

１１月１３日（金）・２７日（金）
１０：００～１２：００　（おひとり２０～３０分）

※専門家ではないため解決できないこともあります。予めご了承ください。

社会見学バスツアー「広島市内めぐり」中止のお知らせ

社会見学バスツアー（11/13）は、諸事情により開催を見送らせていただくことになりました。参加を予定されていた皆さまにはご迷惑をお掛けしますことをお詫び申し上げます。

「2時間で学べる相続の基礎知識」

日　時　１２月８日（火）
　　１３：３０～１５：３０
場　所　串戸市民センター大研修室
講　師　司法書士・行政書士
　　菅井　之央さん
参加費　無料
対　象　どなたでも
定　員　３０名

- 相続の現状
- 相続対策とはどういう項目か
- エンディングノートのお話
- 遺言のお話
- 財産管理のお話
- 財産を残すお話　等

冬休みおかし作り教室

スクエア型のいちごのクリスマスケーキをデコレーションします。
作ったケーキは持ち帰ります。

日　時：１２月２４日（木）９:３０～１２：００
場　所：串戸市民センター調理室
講　師：金築　登志子さん　アン・シャーリー主宰
参加費：１,２００円
対　象：小学１年生～６年生
定　員：１０名
持ち物：エプロン、三角巾、ふきん２枚、持ち帰り容器
　　（15㎝×15㎝）



スポンジは講師の先生の手作りです。大学生ボランティアさんのサポートもありますので、子どもだけでご参加できます。

手話通訳、要約筆記　主催の講座等において手話通訳、要約筆記を希望される場合は、事前に市民センターまでご連絡ください。

お知らせ

串戸歴史ウォークラリー　※雨天中止

スタンプラリーをしながら、廣田神社など数カ所を回ります。

日　時：11月14日（土）　9：00～12：00
集　合：串戸市民センター　スタート・ゴール
持ち物：飲料、タオル、帽子、筆記用具
定　員：30名
申　込：串戸市民センター　窓口またはお電話で
　　32－2096

小学生以上
家族連れ歓迎！
参加賞もあります

主催：串戸地区自治協議会　共催：串戸歴史文化研究会

災害から身を守るための 防災教室



日　時：11月13日（金）13：00～15：00
場　所：金剛寺小学校体育館
講　師：日本技術士会中国本部・防災委員会
　　委員長　青原　啓詞さん、山下　祐一さん
　　建設コンサルタンツ協会中国支部
　　金原　智樹さん
対　象：どなたでも一緒に学べます。
　　（小学校の授業5・6時間目を利用して、
　　5・6年生の防災教室と一緒に開催します）
申　込：廿日市市市民活動センター事務局
　　32－3741



共催：・串戸地区自主防災会　・廿日市市防災士連絡協議会
　　・廿日市地域自主防災連絡協議会　・広島県災害復興支援士業連絡会
　　・日本技術士会中国本部

聞かせてください　話してください

あなたの戦争体験・被爆体験を

1945年8月6日8時15分、広島に原爆が落とされました。
当時、広島は西日本の中心都市として多くの会社・学校・行政機関・軍関係の施設があり、そこへ、ここ廿日市から、国鉄・広島電鉄などを使って通っていました。直接被爆し多くの人が亡くなりました。
傷つきながらも廿日市をめざして逃れてきた人々、帰ってきた人々が多くいました。その人たちを、寺・神社・学校・公民館等々で救護しました。個人宅も負傷者を受け入れました。学校では子どもたちも救護活動に加わりました（救護被爆）。帰ってこない家族や友人を探しに、安否を尋ねて広島へ行きました（入市被爆）。このような事実は、まだまだたくさん各地に埋もれています。
私たちは、「埋もれている記憶・事実をほりおこして記録し語り継ぐことが、より良い平和な未来につながる」との思いのもと、「語り継ぐ会」を行ってきました。
そして、これからも戦争のない核兵器のない平和な世界を創るささやかな歩みを一歩一歩ともに続けていきたいと思います。
聞かせてください、話してください、あなたの戦争体験、あなたの被爆体験を。

【しゃべりばヒロシマ】連絡先：杜の花畑　いまだ
morinohanabatake2016@gmail.com

主催講座報告

9/15 第2回歴史講座

串戸歴史文化研究会の髙見会長から写真や絵図で串戸の成り立ちや歴史を学びました。地域の歴史を知り串戸への理解を深める機会となりました。



9/19 お月見コンサート

山上茂典さんにご出演いただき、約70名の参加者みんなで懐かしい歌や童謡などを歌って楽しみました。



9/29 やさしい日本語講座

三好千聖先生を講師にお招きし、「やさしい日本語」についてグループに分かれて話し合い、相手に伝わりやすい言葉や表現について考えました。



10/2 グリーンボール教室

講師の中島昌子先生に教えていただきながら、参加者同士の交流も楽しみ、それぞれ思い思いののグリーンボールを完成させました。



おしらせ

健康づくりウォーキング 世界遺産 紅葉の宮島

健康で明るい町、身近にできる健康づくりウォーキングに参加してみませんか！

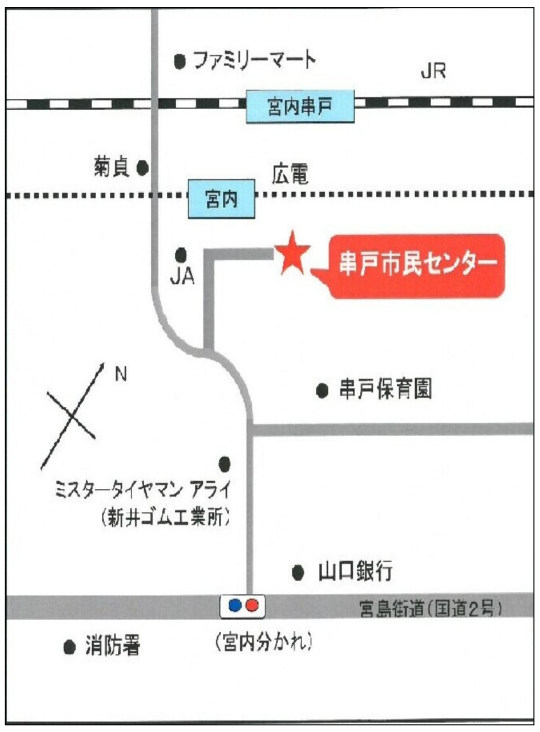
と　き　11月20日（金）9時30分受付・集合
　　10時00分 スタート（正午頃解散）
コース　世界遺産　紅葉の宮島（遊歩道コース）
　　（ハツラツ！はつかいち宮島地域会マップ　約5.3km 約70分）
集合・解散場所　宮島桟橋前広場（観光案内板前）※宮島側
定　員　50名
参加賞　粗品あり
持参品　参加費100円(傷害保険料含む)・タオル・水分補給品、
　　ウォーキング可能な服装、帽子等
　　※リュックサック等をご用意ください
締切り　11月19日（木）
申込先　串戸市民センター（☎32-2096）または
　　廿日市市健康福祉部地域共生社会推進室（☎30－9185）
主　催：串戸地区自治協議会“まんぼサークル串戸”実行委員会
共　催：健康はつかいち21推進協議会

ロビー展示

一筆会の書道作品	10月17日(土)～11月18日(水)
七尾中学校美術部家庭科部	11月19日(木)～12月28日(月)

串戸市民センター

住　所：廿日市市串戸2丁目13番13号
TEL：（0829）32－2096
FAX：（0829）30－2055
E-mail：info@kushidocc.jp



おはなし会

11月12日（木）
10時30分～11時
串戸市民センター図書室
予約不要です。
お気軽にお越しください。

わたしのすきな本

『いろいろバス』大日本図書
さく tupera tupera



いろいろな色のバスがやってきます
バスからおりるのはだあれ？バスにのるのはなあに？
ユーモラスでオシャレ
おたのしみに！　図書ボランティア　柏木玲子

串風



10月17日（土）は、すばらしい秋空の下、串戸市民センターまつりを開催しました。センターまつりは、センタークラブを中心に、音楽や芸術活動の成果を地域の人に知ってもらい、交流を深めることを目的にしています。それに加えて、串戸市民センターの場合は、保育園、小学校、中学校の子どもたちが参加できるイベントを行うことで、地域の子どもたちに串戸の良さや愛着を感じてもらうことも大きなねらいとして行っています。大人と子どものフェスティバルを同時に行うので、主催する側の負担も大きいのですが、毎年少しずつ改善工夫を加えながら続けています。
今回の新しい試みは、キッズ広場の小学生ボランティアの募集でした。これまで大学生が子どもたちのお世話をしてくれていたのですが、小学生にゲームコーナーのお世話を任せることにしました。金剛寺小学校の4・5年生25名がボランティアに協力してくれました。法被を着ることで自覚をもってもらい、ゲームの仕方やルールの説明を行い、来た人が楽しく気持ちよく遊べる環境を作るのが仕事です。お世話をすることで、人に感謝される喜びを知り、自分が役に立っているという気持ちになることはとても大事な体験です。最後の片付けまでちゃんと手伝ってくれました。人手不足の折、大変助かりました。ありがとうございました。
片付けがほぼ終わりかけたころ、会場のゴミをほうきでていねいに掃いてくれる小学生がいました。ちょっと前に私に「何かできることはありますか？」と尋ねてくれたのと同じ子でした。誰に言われたわけでもないのにこんな行動ができるなんて。地元でこんな素敵な宝物が見つかりました。